

桐蔵

きりぐら

桐×伝統技法×モダン
古き良き日本の伝統とモダンの融合。

ナチュラル色とダーク色の2色対応

表面材：桐無垢
短板：16mm厚(桐無垢)
底板：5mm厚(桐柱目突板)



ナチュラル色



ダーク色



「たとお紙着物収納」に最適な浅引出チェスト

「たとお紙着物収納」はもろろんのことハンカチや靴下・ベビー服等幅広い使い方が出来ます。

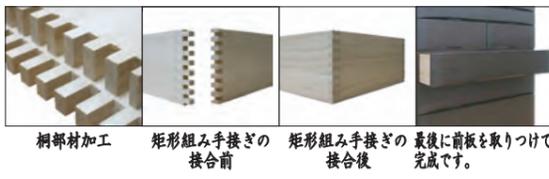


熟練の職人たちによる 確かな品質

創業50年以上の婚礼収納家具で培ってきた技術を生かして、お客様に満足していただける商品づくりが私達の喜びです。

① 矩形組み手接ぎ (ロッキング組)

「石畳組み接ぎ」、「あられ組接ぎ」とも言われ、主に箱や引出、キャビネットなどの箱物の接合部に使われます。櫛の歯状の接合部は強度を高めるだけでなく装飾性の一面も持ち合わせています。



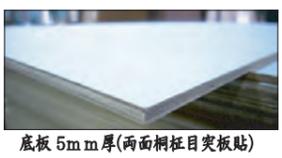
② 擦り込み

桐の引出の精度(密閉度)が大切な衣類を湿気やホコリ等から保護します。弊社は、高級婚礼家具の技術を生かして、引出の精度をより高めるために一つ一つの桐箱を擦り込み調整し差し込んでいきます。(重産と違う精度をご確認ください。)



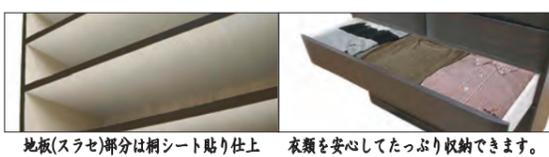
③ 底板 5mm厚(両面桐柱目突板貼)

5mm厚の底板は両面桐柱の突板貼りを施しています。突板は、天然木材を薄くスライスした表面材で木目が直線的な貴重な柱目です。芯材は、厚みにこだわりました。



④ 地板(スラセ)部分は、化粧(桐シート)貼り

整理タンスの引出を引く際に大切な衣類を傷つけないよう地板(スラセ)の部分は、化粧(桐シート)貼り加工を施しています。(ベニヤおさだしのまま大切な衣類を傷つちやいますよ。)



環境対応型家具

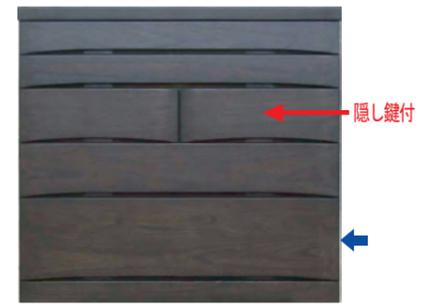
- ・当社の製品は構造上必要な部分には低ホルムアルデヒドの素材を使用しています。合板、パーティクルボードは「F☆☆☆☆」のものを使用しています。
- ・接着剤にはノンホルマリンのボンドを使用しています。
- ・塗料は「F☆☆☆☆認定塗料」を使用しています。この塗料はシックハウスに係るホルムアルデヒド、トルエン、キシレン等の有機化学物質を配合せず、塗膜が食品衛生法、食品添加物の標準に適合する安全型塗料を使用し塗装します。

この商品は 日本で企画・生産されたものです。

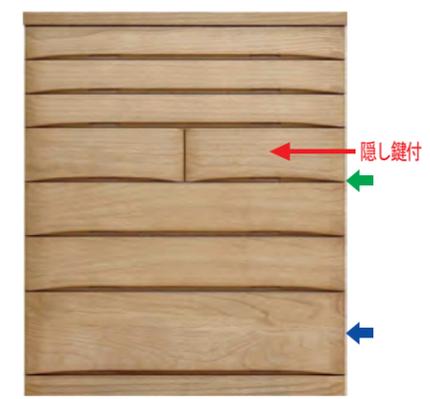
印刷インクは性質上、実際の色と異なる場合がございますのでご了承下さい。
ここに掲載されている商品は、価格や仕様の変更、改良、生産中止が予告なしに行われる事がありますのでご了承下さい。

※右小引出には隠し鍵が付いています。

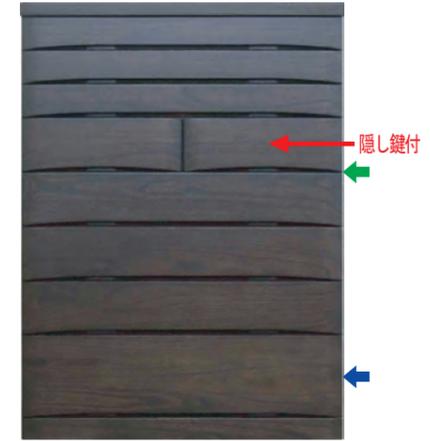
← この矢印のところから上下2分割できます。
← この矢印のところに3段引きレールが付いています。



102-5段チェスト
W1022×D444×H933
¥128,000(税込¥140,800)



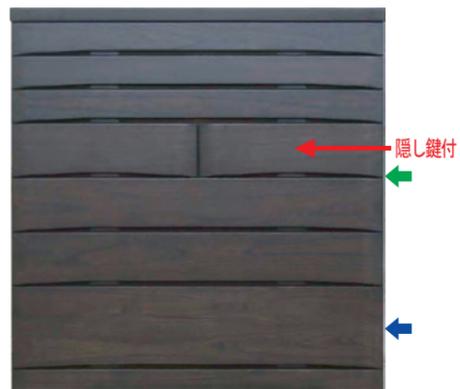
102-7段チェスト
W1022×D444×H1209
¥165,000(税込¥181,500)



102-8段チェスト
W1022×D444×H1380
¥185,000(税込¥203,500)



118-5段チェスト
W1184×D444×H933
¥140,000(税込¥154,000)



118-7段チェスト
W1184×D444×H1209
¥182,000(税込¥200,200)



118-8段チェスト
W1184×D444×H1380
¥203,000(税込¥223,300)

引出内寸表

引出番号	1	2	3	4	5
102・118-5段チェスト	1	2	2	4	5
102・118-7段チェスト	1	3	3	4	5
102・118-8段チェスト	1	3	3	4	5

	①	②	③	④	⑤
W	944	445	445	944	918
D	367	367	367	367	367
H	77	143	123	143	210

	①	②	③	④	⑤
W	1106	526	526	1106	1080
D	367	367	367	367	367
H	77	143	123	143	210

内部の特徴

- 前板・矩形組み手接ぎ**
引出の前板は板をくり抜いた1枚もので耐久性を飛躍的に高めています。引出のコーナーは矩形組み手接ぎにしていますので磨耗に耐える構造です。
- 3段引きスライドレール**
最下段引出は厚めのセーター類などをたっぷり収納できる深めのタイプです。オープンレールなので引出全体が手前に引き出せますので大変便利です。
- 桐ラベル**
桐材をよんだんに使用している家具だけに貼ってあります。
(桐材は通気性がよく湿気を含めると気密性が高くなり、衣類をカビや害虫から守ります。)

◆桐にはこんな特徴があります◆

日本人が古くから桐を好むのは、桐のもつ実用的な特性が、日本の気候風土に適しているからです。

【湿気に強い】
桐を用いた収納具は多孔質で水分を呼吸するように調整しています。そのため、高温多湿の日本で昔から桐箆箆や桐箱が使われてきたのは、湿度を一定に保ち、中身を湿気やカビから守っているからです。また、割れや狂いが少ないのも、桐ならではの特性です。

【保温性・断熱性が高い】
桐の材は多孔質のため、外気温の影響を受けにくく保温性・断熱性に大変優れています。昔からごはんのお櫃として使われてきたのもその理由からです。

【虫を寄せ付けない】
桐は虫が嫌うタンニン、パワロニン、セサミンといった成分が多く含まれており、虫を寄せつけない優れた防虫効果を発揮します。昔から衣類をしまう桐箆箆やお米を保存する米櫃に桐材が用いられてきたのは、害虫がつくのを防ぐためでした。

【軽い】
日本列島に育つあらゆる木の中で一番軽い木材です。桐を用いた軽い家具は、子どもや高齢者にも扱いやすくバリアフリーな家具材として近年注目されています。

【やわらかい】
桐は他の木材に比べてやわらかく、弾力性があり桐そのものは傷つきやすいですが、逆にぶつかったものを損ねないという利点もあります。また、やわらかな肌ざわりは心地よさや温もりを感じさせ、昔から素足で履く下駄の材として好まれてきました。

【燃えにくい】
桐の熱伝導率は国産材のなかで最も低く、非常に燃えにくい木です。万が一燃えても表面が炭化しやすく、内部まで燃えるのに時間がかかります。この優れた耐火性によって、桐は金庫の内張として古くから利用されてきました。

このように、四季がある湿度の高い日本の気候風土のなかで、桐はさまざまな形で私たちの暮らしを支えてきました。現代に伝わる桐製品には、桐の特性を暮らしに活かす先人たちの知恵が詰まっています。